

★ 28日付の市長および実行委員会あての要請書はつぎのようなものです

(紙面の都合で「国分寺9条の会」という発出者名などは省略。改行の仕方や行間などもじっさいに提出したものとは異なります。字が小さくて申し訳ありません)。

国分寺市長 井澤邦夫様

国分寺まつり出店拒否を取り消してください

11月2日に開催される第31回国分寺まつりに、私たちは例年通り出店を申請しました。ところが8月21日付で、実行委員会から「貴団体の出店内容は、政治的意味合いを持つと認められることから、実行委員会役員会出席者総意をもって、貴団体の出店を認めることができないという結果になりました」という通知が届きました。

- 1 「出店内容」は、申請書には詳しく書く項目はありませんでした。にもかかわらず、「出店内容」に問題があるとは、どういうことでしょうか。
- 2 私たちは2008年以来過去6回参加してきましたが、これまでと今年は何が違うのでしょうか。出店拒否されたのは2団体です。根拠とされているのは市報に掲載された国分寺まつりの出店者募集およびステージ・パレード・イベント参加募集の文中の「政治・宗教的意味合いのあるもの」は参加不可という項目とまつり実施要領(公表されていない)です。しかもこれまでは「安全上」「衛生上」の問題で断った例があるが「政治的意味合い」が理由は今年が初めてだということです。わかるような説明は何もなく、「政治的意味合いを持つ」からという理由で出店を拒否されるのは納得がいきません。詳しく説明をしてください。また、実施要領を公表して下さい。
- 3 国分寺まつり実行委員会に出店拒否の取り消しを要請してください。

今回の不当な処分に対して私たちが調べましたところ、昨年の市議会(2013/11/12総務委員会)で国分寺まつりのありかたが論議されていることを知りました。二人の議員から「政治的主張の団体はお断りするよう実行委員会に提言を」「(団体名をあげ)特定の思想に基づくような主義主張を述べるブースが続くのであれば、来年は補助金ゼロの確認でよろしいか」と問われ、樋口副市長は「補助金は公益上必要があるという前提がある。規則で補助金の交付にあたって条件をつけることができる。ご指摘の趣旨に沿うような対応を市としては検討する」と答弁しています。ここで具体的に挙げられた2つの団体が、今回出店要請して拒否された団体です。市が補助金をたてに主導したとしか考えられません。

国分寺まつりは、思想・信条に関わりなく参加でき、参加者を迎えることが出来るまつりで、市民が交流・交歓できる場として開催されているからこそ「公益性」があるとして補助金が認められてきたのではないのでしょうか。私たち国分寺9条の会も2008年から参加しており、多くの市民と交流しながら、まつりを楽しんできました。

議員の発言には、「政治的主張の異なる団体がブースを出せば、違う主張と対立行動を生む」ともありますが、これまで過去6回、一度も混乱はありませんでした。私たちは例年、「9条改訂に賛成?反対?」のシール投票をしています。しかし、「反対」「賛成」

どちらにもシールが貼られます。テントの中で異なる立場でのコーヒーを飲みながらの意見交換もあります。多様な意見を認め合い、場を保証することが「文化と人権」（国分寺まつりの市の担当課）の前提ではないでしょうか。

今回の副市長の答弁とそれに基づく出店拒否ならば、市が文化であるまつりに「政治介入」し、まつりを楽しむ市民の権利を奪い、市民の中に分断を持ち込む行為です。

以上にのべた諸点につき、質問に対しては回答いただき、市の責任に関わる部分については判断を改めていただくよう要請します。

* * * * *

国分寺まつり実行委員会御中 「出店拒否」を撤回してください

11月2日に開催される第31回国分寺まつりに、私たちは例年通り出店を申請しました。ところが8月21日付で、実行委員会から「貴団体の出店内容は、政治的意味合いを持つと認められることから、実行委員会役員会出席者総意をもって、貴団体の出店を認めることができないという結果になりました」という通知が届きました。

私たちは本日市長あてに別紙のような要請書を提出しましたが、貴役員会にも下のことをお尋ねし、またお願いいたします。

- 1) 「出店内容」は、申請書には詳しく書く項目はありませんでした。にもかかわらず、「出展内容」に問題があるとは、どういうことでしょうか。
- 2) 私たちは過去6回参加してきましたが、一度もトラブルはありませんでした。これまでと今年は何が違うのでしょうか。
- 3) 出店拒否されたのは2団体です。しかもこれまでは「安全上」「衛生上」の問題で断った例があるが「政治的意味合い」が理由は今年が初めてだということです。説明は何もなく、「政治的意味合いを持つ」からという理由で出店を拒否されるのは納得がいきません。なぜ、この2団体なのか、誰がどのように判断したのか、経緯を含めて説明をしてください。
- 4) 国分寺まつり実行委員会は出店拒否を撤回してください。

また、誤解を解き相互理解を深めるために、貴役員会と私たち国分寺9条の会代表との懇談の場を設けていただけないかと考えるのですが、如何でしょうか？

第35回 地域で平和について考える集い

とき 9月27日（土）14:00～16:00

ところ もとまち公民館

講演 高嶋伸欣さん（琉球大学名誉教授）

沖縄から見た日本国憲法 沖縄に根付いている主権在民の理念

定員60名・入場無料（申し込みは 042-325-4221 もとまち公民館へ

緊急報告

(事務局よりの傍聴者・卯城 会員等傍聴者多数)

9月4日、市議会定例会において「国分寺まつり 出店拒否」の問題が取り上げられました。質問したのは、片畑智子議員（生活クラブ）と岡部宏章議員（日本共産党）。

詳しくはホームページ、ニュースであらためて報告しますが（緊急ですので、不正確な部分があるかもしれません）、市は一貫して「国分寺まつり実行委員会の判断」として、市としての意見や責任についてはいっさい触れませんでした。

私たちは、昨年の市議会での樋口副市長の答弁「趣旨に沿った条件をつけて補助金を支給する」（ニュース号外参照）という答弁がどうなったか、を知りたいのです。議会でのやり取りが担当課にどう伝えられ、担当課はどう実行委員会に伝え、今年の実施要領改定はどういう内容でされたのか、情報を公開していただきたいと思っています。

市は賛否両方の意見が来ていると答えています。私たちの疑問や意見を引き続き伝えていきたいと思っています。

片畑智子議員との質疑応答では

- ・「市民の共同と参加」を理念とする自治基本条例に照らして今回の処置はどうかか。
 - ・「政治的意味合い」が出店拒否の理由だが、政治はあらゆるものと関わっているともしえるし、関わっていないともいえる。政治と生活は密接に結びついている。行政としての「政治」の定義は？
 - ・あいまいな文言で混乱が生じる。行政として「政治」の定義が必要ではないか。
- という質問に対して市の回答は・・・
- ・出店を断ったのは実行委員会。実行委員会の判断を尊重したい。
 - ・「政治」についての政策基準は決めていない。慎重にしたい。

岡部宏章議員との質疑応答では

- ・「政治にかかわる問題を取り上げる団体」が参加するのも、「どの団体も政治にかかわる問題を取り上げて」もおかしくない。今回の処置を市はどう考えるか。
 - ・市民の間にいたずらに対立や差別、偏見を持ちこむな。自治基本条例にも反する。担当課に抗議の声がたくさんきっていると聞く。どうとらえているか。
- という質問に対して市の回答は・・・
- ・市は事務局として実行委員会のお手伝い。実行委員会が決めたことだ。